令和７年１０月９日

令和７年地域連携推進会議議事録

１．開催日時　令和７年１０月６日（月）　１４：００～１６：３０
２．開催場所　社会福祉法人親和会　川内なずな園　会議室
３．出席者　入所利用者様
GH 利用者様
地域代表の方　A 様
保護者代表　B 様
薩摩川内市市役所障害福祉課　C 様
福祉に知見のある方（基幹相談支援センター）　D 様
社会福祉協議会（地域コーディネーター）　E 様
園職員　施設長・管理者
副施設長
事務長
主任支援員　計１１名
４．実施内容　今回は社会福法人親和会として、障害者支援施設川内なずな園と共同生活援助事業こくらの家と時間を分けて実施する。
５．当日のスケジュール
（１）施設長挨拶
（２）会議参加者紹介（自己紹介）
地域連携推進会議の目的説明
（３）施設見学（施設入所支援事業・生活介護事業）
◎玄関（利用者様の作品、職員ボードの紹介）
◎生活介護事業活動班・見学・説明
・なごみ班（創作活動見学、利用者様とのふれあい）
・チャレンジ班（支援用具提供見学、利用者様とのふれあい）
・ゆず班（日課による午後の間食中、利用者様とのふれあい）
・エンジョイ班（日課による午後の間食中、利用者様とのふれあい）
◎入所棟案内（男性棟・短期入所居室・女性棟・浴室案内）
◎新棟２階ホール案内（非常食倉庫など）
（４）川内なずな園の概要とサービスの取り組みについて
①事業説明（法人の理念、基本方針）
・施設入所支援事業
・日中活動（生活介護・就労継続支援 B 型）
・短期入所・日中一時支援
・共同生活援助事業こくらの家
・指定特定相談支援事業所　なずな（障害者・児）
・年間行事説明（写真も含む）

②利用者様の障害についての説明

・園、GH の利用者様の障害の割合や障害支援区分の平均

※障害名、障害支援区分についての説明も実施する。

③利用者様の権利擁護について

・事故報告等リスクマネジメントについて（令和６年度の事故の内容や件数報告。）

・虐待防止について（虐待防止に向けた、園での取り組みの説明。）

・苦情相談について（令和６年度の実績を説明。）

・自治会について（利用者様でつくる自治会の取り組みについて説明。）

④ＢＣＰについて

・避難訓練について実施報告説明。

グループホームへ移動

（５）GH 見学

・こくらの家へ移動、ホームの見学、入居者の方とのふれあい。

（６）質疑応答

①薩摩川内市社Ｅ様

「川内なずな園は亀山地区であるが、可愛地区のコミュニティーセンターの清掃をしているのはなぜでしょうか」

施設長

「以前は亀山地区のコミュニティーセンターの清掃も委託で受けていましたが、亀山地区の担当者から紹介を受けて可愛地区のコミュニティーセンターの清掃もするようになりました。その後、亀山地区の委託契約が終了したため、現在は可愛地区のコミュニティーセンターのみとなっています。」

②薩摩川内市社協Ｅ様

「生活介護のゆず班は高齢な方での編成と説明があったが、長い方で何年ぐらい利用されていますか」

副施設長

「開所当時から利用されている方は、約２５年ご利用されています。最高齢で男性８５歳の男性がいらっしゃいます。年々高齢化も進み、２５年の間で５名の方がお亡くなりになられました」

③地域代表Ａ様

「夜間の支援体制はどうなっていますか」

副施設長

「夜勤は男女１名ずつ夜勤者を配置し、前後に早出や遅出など勤務者でカバーしています」

④地域代表Ａ様

「この仕事をする中で、一番楽しいと感じたり、大変だなと思う事を教えて下さい」「虐待とかの問題も聞いたことがありますが、なずな園での虐待防止に対する取り組みがあれば教えて下さい」

支援員代表

「いろんな場面で課題が出てきて、大変だと感じることもあります。ですが、個人のみで解決するのではなく、園全体で取り組んでいく様にしています。また園内で問題が起きない様に、職員一人一人が意識して取り組めるように園独自の支援における１０カ条の読み合わせや勉強会を実施しています。」

⑤地域代表Ａ様

「職員の勉強会などはしていますか」

副施設長

「毎月開催の職員会議等で学習の機会は設定しています。介護施設からの転職者も多いですので、入職時のオリエンテーションをはじめ通常時の OJT、目標管理などで人材育成を図っています」

⑥薩摩川内市社協Ｅ様

「利用者自治会さくら会」は何人いますか

利用者代表（※サポートを受けながら）

「さくら会は、会長、副会長、書記、入所利用者代表、通所利用者代表など合わせて１０名のメンバーがいます」

⑦薩摩川内市役所Ｃ様

「家族会はどのようになっていますか」

事務長

「当園の家族会は奉仕作業や行事の際のお手伝い、クリスマス会などでのプレゼントなど様々な協力を頂いています。他の施設では保護者の高齢化により高齢化家族会そのものが廃止になってきている施設も増えつつある中、当園はおかげさまでご家族の協力も頂きやすい関係が作れています」

⑧地域代表Ａ様

「以前からなずな園の利用者さんは、農場やコミュニティーセンターでの作業している姿を見かけますが、とてもよく頑張っていると思います。」

GH 利用者代表（※サポートを受けながら）

「ありがとうございます。これからもがんばります」

⑨地域代表Ａ様

「地域の中で散歩の時などに利用者さん方に会う事があるが、その時に声を掛けていいのかどうか躊躇してしまう場面がある。私から声をかけていいのでしょうか」

施設長

「職員や利用者さんにはいつも地域の方に会った時は大きな声で自分たちから挨拶をするように伝えています。今後も散歩の時などに出会った時には、地域の方々からも「こんにちは。頑張っているね」などと声を掛けて頂けると利用者さんもうれしく励みになりますのでぜひお願いします」

⑩保護者代表Ｂ様

「長かったコロナ禍が明けましたが、子供の体力がだいぶ落ちてきているように感じます。体力が向上するような活動をぜひお願いしたいです」

施設長

「利用者様の体力の低下については、園が今まさに抱えている課題もあります。過ごしやすい気候にもなりますので、屋外に出て散歩や体感を鍛える作業活動を積極的に増やしていくように指示しています。利用者さんの将来の健康を見据えて体力向上は特に意識していきたいと思います」

⑪支援員代表小濵

「園で避難訓練を実施していますが、万が一に備えて、地域も含めての訓練等の実施はできないか？」

地域代表Ａ様

「現在は地域での訓練は実施していない。」

（７）その他意見として

薩摩川内市基幹相談支援センターＤ様

「GH 代表の〇〇さんがとても頑張っていると話を言われての笑顔がとても良い笑顔だと思いました。地域の方と利用者さんがお互いに声をかけあい、笑顔になれる場面が日常的におこなわれるような関係つくりが今回の地域連携推進会議の一番大きな目的であると思います。施設内や障害のある方々を理解することで、地域の方ももっと気軽に関わりが持てるようになると思いますで、引き続き交流が深めていければ思います」

地域代表Ａ様

「園でやっていることを頭では理解していたつもりであったが、実際に見学や話を聞いて皆さんの取り組みや大変さを感じました。これからも頑張って下さい。」

会議の様子

川内なずな園日中活動見学の様子

GH「こくらの家」見学の様子